

# 金井ひろしレポート

## 区政活動報告



District Administration Report

&amp; Activity Report

No.29

## ● ～臨時議会の報告～

● ～インターンシップの感想～上林ほのか&amp;山田はると

● オオニベを釣る、捌く、食す

● 鮭の親子丼を親子で作って食べる秋

● ～タウンミーティングのご案内～

〒152-0032 東京都目黒区平町 1-21-20-303

TEL 080-5195-2909

E-mail : kanai.hi64@gmail.com

### ～臨時議会の報告～

みなさま、新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。午年ということで、情熱をもって区内を駆け巡りたいと思います。

3日前、国で18兆を超える補正予算が成立。それを受ける形で地方議会は動きます。「自治体におかれましては速やかに、なるべく年内に成立させるように」というご丁寧なお言葉を頂戴し臨時会が決定されました。16日(火)に国会で補正予算成立→19日(金)に議案を送付の後に、企画総務委員会で補正審議。その後、本会議で議決という流れですが、もう少し議案に対する会派で議論をする時間が欲しかったのが本音です。補正予算は全会一致で可決の運びとなりました。

今回の補正予算は31億円ほど。予算案のうち21億円をかけて、区民一人ひとりに【3,000ポイント】なんとかPayというものを選ぶか、【区内で使える5,000円分の商品券】を選ぶか、という予算です。ポイントを選ぶと、即座に指定したなんとか

さて、12月19日(金)に臨時議会が開会されました。本題は「第3号補正予算」です。高市政権となり、11月に閣議決定されました。「一人3,000円程度の物価高騰に対する補正予算を組む」との発言を覚えている方もいらっしゃると思います。臨時議会の

Payに振り込まれます。商品券を選ぶと、2,000円分のインセンティブは付きますが、お手元に届くまで郵送なので時間がかかります。商品券は商店街振興も兼ねているということで2,000円分が上乗せされているということです。ポイントを選ぶと区内でそのポイントを使うかどうかかわからないが、商品券なら区内業者に対して使われるということでその意味も理解できます。

しかし、今回の事業でどうしても納得で



きないのは、事務手数料に7億円余り使われることです。21億円の内訳は14億が、区民が5,000円の商品券を選択した場合の14億であり、残りが事務手数料となります。この7億円を区民一人当たり割り返すと、ざっくりですが2,750円掛かるということです。3,000円にしる、5,000円にしる、一人当たり2,750円…もう少し何とかならないものか、大切な税金を使って行う事業ですから、今後の見守りは必要です。



### ～インターンシップの感想～上林ほのか&山田はると

私は議員になってから毎回、インターン生を受け入れております。今回のインターン生は2名です。議会はもちろんのこと、支援の現場、地域活動、区民相談等、様々な現場に連れて行ってあります。何がきっかけになるかわからないし、色んな世界があることだけを見てもらいたいという思いからです。それでは早速お二人の活動報告をどうぞ！

私はこの度、2か月間のインターンシップに参加し、政治の現場を間近で見たり、福祉の現場に実際に同行したりするなど、貴重な経験をさせていただきました。これまで政治といえば、ニュースや教科書で学ぶもので、

自分には遠い存在のように思っていましたが、今回の活動を通じて、認識が大きく変わりました。

私は委員会や本会議の傍聴や国会見学、タウンミーティング、駅頭活動、移動支援の同行など様々な業務にたずさわりました。特に印象に残っているのは、移動支援サービスの現場に同行したことです。障害がある方の買い物など、外出の際にヘルパーが付き添うサービスは、日常生活を支える大切な仕組みです。実際に利用者の方の買い物に同行したり、バスや電車に乗りながら楽しく会話をしたりするといった小さな経験が自分にとって大変貴重な経験になりました。また、金井さんの



## 誰もがともに学び、育ち、「共に生きる！」

Create a society where everyone can learn and grow together and realize "unity in diversity".

누구나 같이 배우고, 성장하고, '같이 사는 세상!' / 全员互助互学, 共同成长, 实现“共生向荣”

立憲民主党

答え・1,620円(税込)



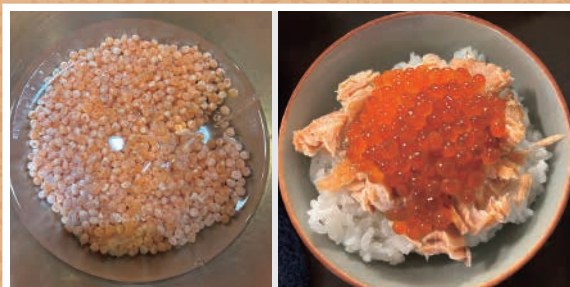
## オオニベを釣る、捌く、食す

趣味はご存じの通り「釣り」です。このレポートでもたびたび取り上げておりますが、今回は秋の釣行で釣り上げた初めての魚・オオニベ。最初の当りはコツンと小さく、巻き上げ始めても軽いし何かな？ と思っていたらグングン引き込み、大物と確信。しばらく格闘の後に無事ランディング。70センチ、5キロの大物です。悪戦苦闘しながら捌き、3日に分けて、刺身・焼き・煮物と食べ続けました。焼き・煮物が良かったかな。



## 鮭の親子丼を親子で作って食べる秋

生の筋子がスーパーで安くなるころ、毎年秋に作ります。年に1～2度の贅沢です。お湯につける、皮を丁寧に取り除く、塩をふりかけ色を戻す、調味料で整えた醤油に漬ける。1時間ほど漬ければ出来上がり。次に、サケの切り身を焼く、サケをほぐしご飯の上にかければ親子丼の出来上がりです。自宅で作るものは何でこんなに美味しいんでしょうね。しかし、生筋子はこのあと、あっという間に高騰し、今年は一回だけ。



抱いている障害をもった方と健常者が隔てなく関われる機会を増やしたという考えにも深く感銘を受けました。

インターンとして印象に残っていることは、地域の方々の声を直接聞く機会が多かったことです。不安や課題は多岐にわたっており、それを丁寧に聞き取り、議会へとつなげていく議員の姿に、政治家としての責任の重みを感じました。また、議員の仕事はただ予算などについて審議するだけでなく、地域住民の生活を支える日常的な地域のかかわりが政治の土台であることを、身を持って学ぶことができました。

このインターンを通して、福祉制度は制度だけでなく「現場を知ること」から始まるのだと学びました。人の生活に寄り添う政治の在り方を肌で感じ、将来は私自身も地域社会の課題解決に貢献できる人になりたいと強く思いました。(上林ほのか)



この夏の二か月間のインターン活動では、初めてのことで新鮮なことが多く、とても充実した活動を送りました。活動をする中で様々な経験をしました。この活動に参加するきっかけは、政治の世界をより深く知ることが一番の目的でした。その中で、興味のある福祉に力を入れている金井さんにインターンを希望しました。いくつかの活動の中で、印象に残っているのは駅頭です。定期的に報告活動を行っているということで、レポート配りを手伝いました。初めてのレポート配りをやったときは特に何も考えずやっていたのですが、金井さんから、その地域にどんな層が住んでいてどこに行き来しているのかを説明していただいたとき、都立大学前駅であれば家族層が多く住宅地が多い地域であるが、オフィスは少ないので、駅に入る人々はサラリーマンなどが多いこと。駅によって出入りする人や、層の違いがあることを知り、とても興味深く感じました。また、子供まつりのお手伝いや、支援現場など実際に地域を見て活動するということを大事にされているのだなと思いました。そして、議会の活動に関しても、各委員会の傍聴をさせていただく中で、問題点をピックアップしてそれに関する受け答えがされていたこと、本会議では議員が上げた質問に対して、区長が返答をしっかりと行っていて議会としての機能は果たされていると感じました。全体として思ったのが、議員の方は情報収集が速いし、しっかりと区政に力を入れていることを実感しました。そして金井さんに関しては、区政だけではなく、実際にイベントなどを通して区民の方たちと積極的にコミュニケーションをとっていて、現場を大切にされていて、非常に地域に根付いた活動をされているのだなと思いました。自分の目的であった、政治・区政を知ることや議員の活動を知ることができてとても勉強になる活動期間でした。(山田はると)

## 次回タウンミーティングのご案内

日時：2026年2月28日(土) 14:30～16:30

場所：緑が丘小学校 ランチルーム

国会議員、都議会議員、そして私の3者からそれぞれ違うフィールドでの報告会を開催します。ぜひともお時間を作ってお問い合わせの上お越しくださいませ。

2/28(土) 14:30～16:30



こんにちは! 金井ひろしです。

区政・活動報告レポート No.29 2026年1月15日発行  
編集発行人：金井ひろし 〒152-0032 東京都目黒区平町1-21-20-303  
TEL：080-5195-2909 E-mail：kanai.hi64@gmail.com



facebook



twitter



Official Web Site



金井ひろし E-mail